

令和4年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会  
第2回定例会会議録

1 開催日時 令和5年2月9日(木) 午後2時44分から午後3時まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

松井 義夫	委員長	舟橋 逸喜	副委員長	余語 延孝	委員
高田 良	委員	余語 正義	委員	木村 信昭	委員
松浦 悟示	委員	小島 幸雄	委員	浅井 実男	委員
井上 功	委員	大脇 五郎	委員		
河村 典久	委員(学識経験者)			片岡 和浩	委員
隅田 昌輝	委員	梅村 知成	委員		

欠席委員

仲根弘志郎 委員 河村 鉄弥 委員

事務局

永井 浩仁	事務局長	熊崎 礎功	業務課長
今枝 里美	総務課長	服部 和宏	業務課長補佐
佐藤 豪洋	業務課施設管理係長	堀田 易伯	総務課会計係長

4 議題

(1) 令和4年下半期管理状況について

5 会議資料

・下半期埋立実績

6 議事内容

今枝総務課長：本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻より少し早いですが、皆様お揃いですので、只今から「令和4年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会第2回定例会」を開会いたします。本日の出席委員は、15名であります。環境センター処分場管理委員会要綱第6条の規定により、会議は成立いたします。次第に従いまして、委員長よりごあいさつをいただきたいと思います。よ

ろしくお願いいたします。

松井委員長：あいさつ

今枝総務課長：ありがとうございました。これ以降の議事の取り回しにつきましては、委員長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

松井委員長：それでは、議事に入ります。議題1「令和4年下半期管理状況について」を議題とします。事務局の説明をお願いいたします。

熊崎業務課長：令和4年下半期の管理状況について、報告させていただきます。

1 ページをご覧ください。下半期の埋立実績です。7月から12月までの下半期合計は、搬入日数は70日で、埋立量は103.43t、覆土量を合わせた容積換算量の合計で68.28m<sup>3</sup>でした。年間の合計埋立物は126.82t、令和3年と比較しますと、率で、7.99%の減少でした。

続きまして、2 ページをご覧ください。上の写真が、令和5年1月20日に埋立地内を撮影した埋立現況写真です。下の平面図は、令和4年12月末の埋立現況図になります。実埋立容量の267,700m<sup>3</sup>に対し、埋立量は196,860.67m<sup>3</sup>で、埋立率は、73.54%となっています。

続きまして、3 ページをご覧ください。令和4年下半期の調査概要です。(1)目的、(2)測定機関、(3)測定項目、(4)測定地点につきましては、変更はありません。各種測定箇所については、4 ページに示すとおりであります。

続きまして、5 ページをご覧ください。水質検査等の測定結果としまして、1、原水水質測定、埋立地から出てくる浸出水の水質測定結果になります。測定は、7月5日と11月8日に測定を行い、結果につきましては、表中に記載されたとおりであります。

次に、2、騒音測定結果をご覧ください。12月13日から14日にかけて測定を行いました。測定地点①、昼間が45dB、朝が45dB、夕が39dB、夜間が39dB、測定地点②につきましても同様に測定を行い、結果につきましては、表中に記載されたとおりで、基準値以下の値でした。なお、測定値は、敷地境界線上での測定のため、水処理施設から離れており、施設以外の周辺騒音も含まれております。3、振動測定結果をご覧ください。騒音測定と同様に12月13日から14日にかけて測定を行いました。測定地点①、②共に、昼間、夜間共に30dB未満で、基準値以下の値でした。30dB未満の値については、測定保障下限値未満のため括弧内に参考として表記しております。

次に、4、悪臭測定結果をご覧ください。測定は、12月12日に行いました。測定項目は22項目です。項目1のアンモニアから、項目22のキシレンまで測定を行ない、全て基準値以下の値でした。

続いて、6 ページをご覧ください。5、下水道放流水の水質測定結果です。この水は、処理後の放流水になります。7月から12月まで毎月

測定を行いました。健康項目の項目1のカドミウム及びその化合物から、項目28の1,4-ジオキサンまでと、生活環境項目の項目1の水素イオン濃度から項目16の燐含有量までと、その他の4項目の測定を行い、結果につきましては、表中に記載されたとおりで、全て基準値以下の値でした。

続きまして、7ページをご覧ください。6、地下水の水質測定結果になります。7月と9月には、自主測定にて、生活環境の保全に関する環境基準の項目1、2、4、5とその他の1、3、4を測定しており、結果は、表中に記載のとおりです。地下水の水質測定は、11月8日に行いました。人の健康の保護に関する環境基準の項目1のカドミウムから項目28の1,4-ジオキサンまでと、生活環境の保全に関する環境基準の項目1の水素イオン濃度から項目16の燐までと、その他の4項目の測定を行い、結果につきましては、表中に記載されたとおりで、全て基準値以下の値でした。なお、最下段になりますが、その他の項目の中で、11月8日の測定において、塩化物イオンのNo.2の値が310mg/Lということで、基準値の定めは無いものの、通常より高くなっております。この測定箇所ではありますが、4ページにお戻りください。最下段に黒丸でNo.2と記載した地点で、先ほどの塩化物イオンの値が高くなりました。南側の民間の建物等に隣接する箇所となります。そこで、組合の処理施設に起因する可能性を検証するため、施設に隣接する北側の白丸の観測井戸にて、自主測定を実施しました。7ページにお戻りください。表の一番右側に記載いたしました。12月21日に自主測定を行い、下段の塩化物イオンの測定値は5mg/Lでありました。このことから、No.2の測定地点の塩化物イオンの変動は、当組合施設に由来する可能性は低いものと考えられますが、引き続き、この観測井戸の箇所においても測定を増やすなど、経過観察を続けてまいりたいと考えております。8ページについては、用語の資料になります。

報告は以上となります。

松井委員長：事務局の説明は終わりました。ご質問等がありましたら挙手をお願いいたします。

余語正義委員：騒音の測定についてお尋ねします。12月13日から12月14日にかけて測定をされていますが、この時は作業をやっているのかいないのか教えてください。

熊崎業務課長：作業している時に測定をしています。

余語委員：ありがとうございました。

松井委員長：ほかにございますか。

松井委員長：なければ、議題1については終了します。

続きまして、「その他」について、事務局から何かありますか。

熊崎業務課長：事務局より報告がございます。令和4年4月25日の当管理委員会の時にお知らせしました「水処理施設調整槽防水工事」であります。令和5年1月30日に着手したことを報告させていただきます。今年度は、第一調整槽の防水工事を実施し、令和5年度には、第二調整槽の工事を実施します。また、工事期間中には、関係車両等の出入りもありますが、近隣住民の皆様方にご迷惑をおかけしないよう十分に注意してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。工期は、令和6年3月4日までとなっております。

続いて、2点事務連絡をさせていただきます。1点目として、次回の委員会の開催についてであります。管理委員会の定例会につきましては、管理委員会要綱により、年2回の開催となっております。次回は、本年8月上旬を予定しております。開催日時が決定次第、ご通知させていただきますので、よろしく願いいたします。2点目として、各委員さんに、令和4年の委員報酬に係る源泉徴収票を、お手元に配布させていただきましたので、ご確認いただきますようお願いいたします。事務局からは以上となります。

松井委員長：ほかに何かありませんか。

松井委員長：質問等なければ、本日予定しておりました議事を終了いたします。

これをもちまして、令和4年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会第2回定例会を閉会いたします。これで今年度の委員会は終わりだと思っておりますので、また来年引き続き委員会に出席される方はよろしく願いいたします。本日は、お疲れ様でした。ありがとうございました。